

専門

金融論



金融市場や金融制度などの**金融論**が専門ですが、大学での専攻はフランス文学という珍しい経歴です。

転職は社会人になってから訪れました。公務員志望で当時の郵政省への就職を果たしますが、配属先はまさかの郵便貯金部門（現ゆうちょ銀行）。貯金の調査で大学の先生と話をするうちに、金融制度研究の魅力にとりつかれ、働きながら大学院に。ついには仕事を辞めて博士後期課程に進学し研究者への道を歩き始めたそうです。

授業では、**金融市場**や**金融制度・金融機関の機能**や**役割**について教えています。

「預金・保険・投資などの金融商品の**特徴**や**性質**についても学ぶため、普段から金融に関するニュース等に関心を持つことが大切」と言います。

趣味

ピアノ

幼稚園から 10 年間習って
いました。今でも研究室に電子
ピアノを持ち込んで週 2～3
回気分転換に弾いています。



経済学部



SHIMODA SHINYA
下田 真也 准教授

経済学科

・鍋スープの商品化、発売

学生提案の 30～50 代の女性
をターゲットにした「梅味の鍋スー
プ」の企画をニビシ醤油が採用。ニ
ビシオンラインショッピングの他、関
東をはじめとするスーパーなどで販
売中です。



・経済学部のパンフレット作成

ページ割から取材・撮影に学生が
取り組み、経済学部をアピール！



・工場見学体験ツアー

古賀市の小中学生に地元企
業の活動や商品を知ってもら
うことを目的としたプロジェクト



産学
連携

学生が主役、 私はブレーキ役

企業や自治体とテーマを決めて、学生がプロジェクトを企
画・立案をする授業「**実践企画演習**」を担当し、複数のプロ
ジェクトを指導しています。

「社会人と接する機会が多いため言葉遣いが丁寧になるな
ど自然と大人としての自覚が生まれるようです。プレゼンやコミ
ュニケーションの能力も見違える程向上しますね」。

時にはブレーキをかけながら若い力の突進を見守ります。

・オープンキャンパスプロジェクト

高校生とのコミュニケーションを図
りながら九産大や経済学部の魅
力を学生目線で伝えます。